



授業も給食も新しい生活様式で実践中(第一小学校)

## ピックアップ議会

- 令和2年度沼津市一般会計補正予算(第7回)における  
新型コロナウイルス感染症対策予算の内容 ..... P.2

## 市政について問う!

- 7人の議員が一般質問を行いました ..... P.4~6

## 委員会レポート

- 常任委員会(総務、文教産業、民生病院、建設水道)  
所管事務調査について報告します ..... P.10~11

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策の拡充に関する一般会計補正予算が上程され、原案のとおり可決しました。

ここでは、補正予算に計上された主な予算の内容についてお知らせします。

## 新型コロナウイルス感染症対策予算の内容

議第 64 号 令和 2 年度沼津市一般会計補正予算（第 7 回）

4 億 8,818 万 6,000 円

### プレミアム付商品券発行事業費 5,750 万円

●目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響により低下した消費活動の喚起及び地域経済の循環の創出

●内容

プレミアム付商品券を発行する市内商店街等に対し、商品券販売額の 50%までをプレミアム分として補助するほか、商品券発行に係る事務費相当額を補助



### 沼津寺子屋開催事業費 260 万円

●経緯

新型コロナウイルス感染拡大の影響により休校期間が長期化したことを受け、安心して自らの進路に向き合い、自己実現の達成に向けて努力を重ねていける環境づくりの検討を進める中、議会からの要望もあり、実現（P.9 参照）

●対象

市立中学校に在籍する 3 年生のうち希望する生徒

●内容

令和 2 年 7 月から令和 3 年 1 月までの間、1 回当たり 2 時間程度の補習学習を月 2 回、退職した教職経験者等を活用して実施



▲第五中学校で開催された寺子屋

令和 2 年度沼津市一般会計補正予算（第七回）における  
新型コロナウイルス感染症対策予算の内容



※ 5 月臨時会における新型コロナウイルス感染症対策事業の内容は P.8 を御覧ください

### 一般会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 本市に交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の内容は。

**答** 本交付金は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及びその影響を受けている地域経済や住民生活の支援を目的に、地方公共団体が地域の实情に応じて実施する事業の財源として充当するために国が創設したものであり、本市においては、中小企業者応援事業、経済変動対策資金利子補給事業、教育サポート

事業、病院事業会計繰出金、公共交通支援事業、衛生用品等整備事業に係る経費の一部として交付されるものである。

**問** 令和 2 年度沼津市一般会計補正予算（第 7 回）により、財政調整基金の残高は幾らになるのか。

**答** 財政調整基金の残高は、約 43 億 8,000 万円となる見込みである。



## 6月定例会の主な内容

第5回(6月)定例会は、6月5日から6月26日までの22日間にわたり開催しました。この定例会では、令和2年度補正予算議案等43件と議員提出議案2件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。また、7人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。(P.4～6)

### 主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
条例	議第57号 沼津市立病院条例の一部改正	■特別初診料の額を改め、特別再診料の額を定めます 保険医療機関及び保険医療養担当規則の一部改正に伴い、特別初診料の額を改めるとともに、特別再診料の額を定めるものです。	可決
	議第58号 沼津市景観等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定	■再生可能エネルギー発電事業に関し必要な事項を定めます 本市の美しい景観、豊かな自然環境及び安全かつ快適な生活環境と再生可能エネルギー発電事業との調和を図り、豊かな地域社会の発展に寄与することを目的として、条例を制定するものです。	可決
	議第63号 沼津市特別職の職員の給料の特例に関する条例の制定	■特別職の職員の給料を減額します 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るための休業協力要請等に伴う市民生活や市内経済への影響の大きさに鑑み、市長に支給する給料の100分の50を、副市長及び教育長に支給する給料の100分の10を、2か月間減額するものです。	可決
予算	議第59号 令和2年度沼津市一般会計補正予算(第6回)	■3億613万4,000円を追加し、予算総額は927億1,414万6,000円となります 追加したものは、道路長寿命化事業費1億105万円、介護保険事業会計繰出金8,113万6,000円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として基金繰入金などをもって充てるものです。	可決
人事	認第13号 教育委員会委員任命の同意	令和2年10月9日をもって任期満了となる三園町在住の重光純 <sup>しげみつじゆん</sup> 氏を再任するものです。	同意
	認第14号 公平委員会委員選任の同意	令和2年10月9日をもって任期満了となる岩崎豊 <sup>いわさきゆたか</sup> 氏の後任として、東椎路在住の鈴木敬人 <sup>すずきけいじん</sup> 氏を選任するものです。	同意
	認第15号～認第33号 農業委員会委員任命の同意	令和2年7月19日をもって任期満了となる農業委員会委員について、大平在住の鈴木孝雄 <sup>すずきたかお</sup> 氏、柳沢在住の小野民子 <sup>おののたみこ</sup> 氏、鳥谷在住の佐野良一郎 <sup>さのりょういちろう</sup> 氏、西浦久連 <sup>にしうらひさのぶ</sup> 氏、渡邊英廣 <sup>わたなべひでひろ</sup> 氏、井出 <sup>いで</sup> 在住の柴田真人 <sup>しばまさと</sup> 氏、内浦重須 <sup>うちうらしげす</sup> 氏、米原克己 <sup>よねはらかつみ</sup> 氏、西浦河内 <sup>にしうらこうち</sup> 氏、渡邊邦弘 <sup>わたなべくにひろ</sup> 氏、青野 <sup>あおの</sup> 在住の庄司勝 <sup>しらすかち</sup> 氏、東沢田 <sup>あづさわた</sup> 在住の田中正幸 <sup>たなかまさゆき</sup> 氏、花園町 <sup>はらやすかす</sup> 在住の杉山徳芳 <sup>すぎやまとくよし</sup> 氏、獅子浜 <sup>ししよ</sup> 在住の川口修 <sup>かわぐちしゆ</sup> 氏、原 <sup>はら</sup> 在住の植松勝 <sup>うえまつまさ</sup> 氏、大平 <sup>おほひら</sup> 在住の原泰一 <sup>はらやすかず</sup> 氏、小諏訪 <sup>こすわらひ</sup> 在住の桔梗祥司 <sup>ききょうしやうじ</sup> 氏、石川 <sup>いしかわ</sup> 在住の栗田佳則 <sup>くりたよしのり</sup> 氏、戸田 <sup>とだ</sup> 在住の山本良明 <sup>やまもとよしあき</sup> 氏、大岡 <sup>おおおか</sup> 在住の青嶋透 <sup>あおしまとほる</sup> 氏、井田 <sup>いわた</sup> 在住の沖島房義 <sup>おきしまふさよし</sup> 氏、岡一色 <sup>おかひさし</sup> 在住の加藤久佳 <sup>かとうひさよし</sup> 氏の19人を任命するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



### 会派別 賛否が分かれた議案一覧

○ = 賛成 × = 反対 — = 退席 ※ ( ) 内は所属議員数

	議案名	議決結果	志	自	市	公	立	沼	日	未	無
			政	民	民	明	憲	津	本	来	所
			会	沼	民	党	沼	津	共	の	属
			(7)	(6)	(4)	(3)	(3)	(2)	産	風	(1)
									党	(2)	(1)
条例	議第57号 沼津市立病院条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	議第58号 沼津市景観等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	×	×	×	○	○
	議第63号 沼津市特別職の職員の給料の特例に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	(2)(1) ○-	○	○	○	○
予算	議第59号 令和2年度沼津市一般会計補正予算(第6回)	可決	○	○	○	○	(1)(2) ○-	○	—	—	○
	議第64号 令和2年度沼津市一般会計補正予算(第7回)	可決	○	○	○	○	○	○	—	—	○



# 市政について 問う！

第五回（六月）定例会では、七人の議員が市政について質問しました。

# 一般質問

議員名	主な質問項目	掲載頁
長田 吉信	鉄道高架事業、避難所運営の感染症対策	4
梅沢 弘	コロナ禍の自治体財政、国・県の高架事業補助金、高架訴訟状況	4
久保田吉光	ひきこもり問題	5
渡部一二実	改正浄化槽法対応、一般廃棄物処理対策	5
渡邊 博夫	新型コロナウイルス感染症、授業日数確保、進路指導、心のケア	5
川口 三男	命と暮らしを守る市政、財源確保と長期財政試算	5
山下富美子	学校給食休止の業者対応、税収減と高架見直し、PCR検査	6

※会派代表者の申合わせにより、6月定例会は通告した全ての議員が、一括質問一括答弁方式（議員が通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式）で一般質問を行いました。

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.6の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目  
(通告一覧)はこちら



## 鉄道高架事業訴訟の状況と将来にわたる財政負担は

**問** 沼津駅付近鉄道高架事業訴訟の令和二年二月十三日の第十九回口頭弁論の証人尋問において、被告である国及び県が、証人を出さなかったことに対する認識は。

**答** 沼津駅周辺整備部長／証人尋問において、被告側が証人の申出を行わなかったのは、これまでに提出した書面等において十分に事業の効果や必要性について立証してきたと判断したためであると認識している。

**問** 沼津駅周辺総合整備事業について、①当市の負担額算出の基となる沼津市長期財政に関する試算の現時

点における正当性は。②コロナ禍の影響で経済状況が悪化したことに伴い事業の見直しを行う考えは。

**答** 財務部長／①本試算は、作成時点での財政状況を示すため、その時点における妥当性のある条件を根拠に試算したものである。

沼津駅周辺整備部長／②本事業は、南北市街地の分断や本市が抱える様々な課題を解決し、種々の効果を発現する事業であり、将来世代に受け継ぐべきまちづくりの根幹をなす極めて重要な事業であることから、事業の見直しは考えていない。

梅沢 弘



## 鉄道高架事業に係る県収用委員会の裁決内容と今後の取組は

**問** 新貨物ターミナル用地に係る静岡県収用委員会の権利取得裁決及び明渡裁決の状況は。

**答** 沼津駅周辺整備部長／土地の所有権取得を求める裁決申請に対しては、対象となる土地全てについて裁決され、既に裁決に基づき九人の土地所有者全員に対して補償金の支払い手続を完了しており、現在、所有権移転登記の手続を進めているところである。また、物件の移転等を求める明渡裁決の申立てについても、四十一人が所有する工作物や立木等を対象に裁決され、明渡しの期限は、

土地の所有者ごとに、六月八日、六月十八日、十月六日、十一月五日と決定された。こちらも既に補償金の支払い手続は完了しており、六月八日に期限を迎えた三件については明渡しを完了している。

**問** 鉄道高架事業を進めることに對する市長の決意は。

**答** 市長／本事業は沼津市の未来に必要な不可欠であり、県と連携を図りながら全力で取り組んでいく。

長田 吉信



▲新貨物ターミナルの完成イメージ

## 家庭ごみの収集運搬業務に関する事業継続計画の必要性は

**問** 新型コロナウイルスの感染が懸念される中、家庭ごみの収集運搬業務は一日たりとも休むことのできない重要な業務であるため、事業継続計画の早期策定が必要であると考えますが、本市の認識は。

**答** 生活環境部長／家庭ごみの収集運搬業務は、市民の生活に不可欠なサービスであるため、市、あるいは一般廃棄物処理業者の中に新型コロナウイルス感染者が発生し、収集運搬業務に支障が出た場合には、市が中心となり事業者間で連携し、業務を継続していきたいと考えており、

**問** 新型コロナウイルスの感染が懸念される中、家庭ごみの収集運搬業務は一日たりとも休むことのできない重要な業務であるため、事業継続計画の早期策定が必要であると考えますが、本市の認識は。

**答** 生活環境部長／家庭ごみの収集運搬業務は、市民の生活に不可欠なサービスであるため、市、あるいは一般廃棄物処理業者の中に新型コロナウイルス感染者が発生し、収集運搬業務に支障が出た場合には、市が中心となり事業者間で連携し、業務を継続していきたいと考えており、

渡部 一二実



## ひきこもりの潜在化という課題を解決するための取組は

**問** 八十代の高齢の親が、ひきこもる五十代の中年の子を経済的に支える8050問題が、社会問題となっているが、本市の認識は。

**答** 福祉事務所長／8050問題は、経済的困窮のほか、全国では、孤独死、無理心中などの事件も発生しており、本市としても、さらなる高齢化の進行により事態の深刻さが増していると認識している。また、ひきこもりは、実態把握が困難であることから、本人や家族だけで抱え込まない、潜在化させないことが必要であると考えている。

**問** ひきこもりの潜在化という課題を解決するための取組は。

**答** 福祉事務所長／地域の身近な存在である民生委員・児童委員や自治会等の協力による見守り、声掛け等、家族を孤立させない日常的な活動の広がりが求められていることから、生活困窮者自立支援ネットワーク会議等、関係機関との密接な連携を図る中で、広く周知・啓発活動を行うとともに、国、県の施策方針を踏まえて、相談体制を整え、多様な状況に対応できるよう、さめ細やかな支援を進めていく。

久保田 吉光



## 市民の命と暮らしを守るための新型コロナウイルス感染症対策は

**問** 市民の命と暮らしを守るための新型コロナウイルス感染症対策について、①市立病院においてPCR検査を積極的に行う体制を整備する考えは。②第二波における中小・小規模事業者等への支援策は。③生活困窮者やひとり親家庭への支援策は。

**答** 病院事務局長／①当院におけるPCR検査は、保健所の帰国者・接触者相談センターから依頼された人や当院の診察で医師が必要と判断した人等に対して実施しており、今後も現状の取組を継続していきたいと考えている。

**問** 市民の命と暮らしを守るための新型コロナウイルス感染症対策について、①市立病院においてPCR検査を積極的に行う体制を整備する考えは。②第二波における中小・小規模事業者等への支援策は。③生活困窮者やひとり親家庭への支援策は。

**答** 病院事務局長／①当院におけるPCR検査は、保健所の帰国者・接触者相談センターから依頼された人や当院の診察で医師が必要と判断した人等に対して実施しており、今後も現状の取組を継続していきたいと考えている。

川口 三男



## 学校現場における新型コロナウイルス感染症への対応は

**問** 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために休校していた市立小中学校再開後の感染拡大防止策は。

**答** 教育長／教育委員会が各学校に対して、毎朝の検温や換気の徹底、マスクの着用、対面を避けた形での授業等の実施を指導することにより感染源及び感染経路を絶つことに努めている。また、感染への不



▲マスク等の感染予防策を取りながら行う授業の様子

**問** 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために休校していた市立小中学校再開後の感染拡大防止策は。

**答** 教育長／教育委員会が各学校に対して、毎朝の検温や換気の徹底、マスクの着用、対面を避けた形での授業等の実施を指導することにより感染源及び感染経路を絶つことに努めている。また、感染への不

渡邊 博夫



## 用語解説



### ※ 1 権利取得判決、明渡判決 (P.4)

権利取得判決は、判決で定められた時期までに起業者（市）が土地所有者へ補償金を支払うことで土地の所有権を取得できるもので、補償金の受取を拒否された場合は法務局に供託できる。

明渡判決は、判決で定められた期限までに起業者（市）が物件所有者へ補償金を支払い、物件所有者は明渡期限までに物件を移転して土地を明け渡さなければならないとするもので、補償金の受取を拒否された場合は法務局に供託できる。期限までに明渡しが行なわれないときには、起業者（市）は知事に代執行による物件の撤去の請求をすることができる。

### ※ 2 特定既存単独処理浄化槽 (P.5)

既存の単独処理浄化槽（し尿のみを処理する浄化槽）であって、そのまま放置すれば生活環境の保全及び公衆衛生上重大な支障が生ずるおそれのある状態にあると認められるもの。

## 学校給食休止に伴う 食材納入事業者への支援は

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための市立小中学校臨時休業に伴う学校給食の休止により、食材納入事業者に大きな影響が出ていると考えますが、国の学校臨時休業対策費補助金等を活用し支援する考えは。

**答** 教育次長／本補助金は、学校設置者が食材納入事業者に対し発注した食材に係る違約金を負担する場合等において、その経費の一部を補助するものである。本市においては、契約上、違約金の支払い義務は生じないため補助の対象外と判断しているが、新たに国から、違約金以外の

経費についても補助の対象となるの見解が示されたことを受け、現在、本補助金等を活用した食材納入事業者への支援に関する諸課題の整理を行っているところである。

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により税収が大きく減少すると考えるが、多額の財政負担が見込まれる鉄道高架事業を見直す考えは。

**答** 沼津駅周辺整備部長／鉄道高架事業は本市のまちづくりの根幹をなす事業であり、一日も早く事業の効果を発現することが重要と考えているため、見直すことは考えていない。

山下 富美子



## 委員会レポート（公契約関係競売入札妨害等事件に係る再発防止特別委員会）

### 公契約関係競売入札妨害等事件に係る再発防止特別委員会の調査報告を行いました



調査報告書を議長に提出する特別委員会委員長（右）

当局の再発防止に係る取組を引き続き注視していく必要があると考えることから、さきに提出した「職員による不祥事の再発防止に関する申入書」に掲げた項目に加え、下記の項目についても当局に対し要望しました。また、これを機に、行政の監視機能である議会自身もさらなるコンプライアンス意識の向上を図る取組を実施するよう下記の項目について提案しました。

#### 当局への要望

- 1 取組の進捗管理を確実にいき、その状況を定期的に議会へ報告するとともに市民に対し発信すること。
- 2 職員が心身共に健康で安心して働ける環境の確保は、業務改善のみならず職員の資質向上、不正行為の根絶にも寄与することを認識し、風通しのよい職場環境を実現するとともにその維持に努めること。

#### 議会への提案

- 1 不正行為に対する抑止力を強化するため、当局の入札契約事務の執行状況に係る議会への報告について、現行以上に詳細な資料の提出を求めること。
- 2 沼津市議会議員政治倫理規程に掲げる内容を改めて確認するとともに、研修等の機会を通じ、議員のコンプライアンス意識のさらなる向上を図ること。



# 常任委員会などの構成が決まりました！

議席番号	氏名	議会運営委員会	常任委員会					特別委員会	協議または調整を行うための場 議会だより編集委員会	一部事務 組合議会		会派名									
			総務委員会	文教産業委員会	民生病院委員会	建設水道委員会	一般会計予算決算委員会			特別会計企業会計予算決算委員会	沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会	伊豆市沼津市衛生施設組合議会	駿東伊豆消防組合議会	志政会	自民沼津	市民クラブ	公明党	立憲沼津	日本共産党沼津市議団	未来の風	無所属
1	浅田美重子			☆		○		○	☆	○			○								
2	村木 豊		○					☆	○					○							
3	平野 謙	○			○		○			○								★			
4	大場 豪文				○			○													○
5	小泉 宣子					☆	○			○						○					
6	尾藤 正弘	○				★	○							○							
7	久保田吉光	○	○					★	○					★							
8	霞 恵介				★			○		○					○						
9	深田 昇			★				○	○	○						○					
10	市川 道隆			☆			○		○	○				○							
11	井原三千雄		☆					○						○							
12	小澤 隆		★					○	○					○							
13	◇加藤 明子					○		○		★		○	○								
14	原 信也					○		○										○			
15	梅沢 弘			○			○											○			
16	岡田 進一		○				○			○									○		
17	江本 浩二			○				○													○
18	山下富美子		○				○			○											★
19	片岡 章一			○			☆				○					○					
20	長田 吉信	☆			○			○	○		○					★					
21	◆植松 恭一			○				○						○							
22	水口 淳					○	○							○							
23	梶 泰久					○	○					○			○						
24	渡部一二実	○	○				○		☆			○			★						
25	渡邊 博夫	○			○		★				○	○	○								
26	□高橋 達也				○		○						○								
27	浅原 和美	★		○				○	★				★								
28	川口 三男					○		○											★		
合計人数		7	7	7	7	7	14	14	9	8	4	5	7	6	4	3	3	2	2	1	

◆は議長、◇は副議長、□は議会選出の監査委員、★は委員長または会派の代表者、☆は副委員長、○は所属となります。(R2.6.26 現在)



## 第2回(5月)臨時会を開催

第2回臨時会は、5月20日から22日までの3日間にわたり開催しました。  
この臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計補正予算の専決処分の報告及びその承認等14件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。



## 新型コロナウイルス感染症対策事業の主な内容

### ●市立小中学校児童生徒へ図書カードを配付 3,744万6,780円



認第7号  
専決処分の報告及びその承認  
(財産の取得(図書カードNEXT))  
認第9号  
専決処分の報告及びその承認  
(令和2年度沼津市一般会計補正予算(第2回))



### ●中小企業者応援事業 3億2,000万円

- ◆宿泊業・飲食店への休業要請に対する協力金
- ◆宿泊業・飲食サービス業の売上減少に対する給付金
- ◆沼津港エリアの小売業者への休業要請に対する支援金

### ●市立病院の診療材料及び医療器械の購入費用に対する補助 1,838万6,000円

認第10号  
専決処分の報告及びその承認  
(令和2年度沼津市一般会計補正予算(第3回))



### ●特別定額給付金(1人10万円)の支給 196億円



認第11号  
専決処分の報告及びその承認  
(令和2年度沼津市一般会計補正予算(第4回))



### ●市税の徴収猶予の特例制度

～収入が前年同期に比べて概ね20%以上減少し納税困難な方に対し、申請により最大1年間の徴収を猶予～

議第43号 沼津市税賦課徴収条例の一部改正



### ●子育て世帯へ臨時特別給付金を支給

～児童手当を受給する世帯に対し、児童1人当たり1万円～

### ●県の経済変動対策貸付資金を利用した中小企業者等に利子補給金を支給

～令和2年度沼津市一般会計補正予算(第1回)からの制度拡充～

議第46号 令和2年度沼津市一般会計補正予算(第5回)



2億1,390万円

8,750万円



## 議会ICT推進 × 新型コロナ対策

～テレビ会議の試行の取組～

沼津市議会では、新型コロナウイルス感染症への対応の一環として、タブレット端末を用いたテレビ会議システムの活用について研究をしています。

タブレットプロジェクトチームが作成したマニュアルを全議員で共有し、まずは、議会だより編集委員会において試行し、検証を進めています。





## 沼津市議会における新型コロナウイルス感染症対策の取組

### 要 望

**4月** ゴールデンウィークを迎えるに当たり、特に特定警戒都道府県からの移動者が多い本市への流入抑制について、より強固な要請を行っていただくとともに、流入抑制に係る具体的な対策を早急に講じていただくよう、**県知事に対し要望書を提出**しました。



コロナ対策に  
議会が一枚岩  
となります！



**5月** 学校の休校が長引いたことにより、児童生徒の学習の機会が大幅に喪失し、学力の低下が懸念されることから、授業再開後には様々な取組により教育の質・量の確保を図るよう、令和2年5月22日、**議長と会派代表者が、市長と教育長に対し要望書を提出**しました。

なお、沼津市議会としては、各小中学校における取組に関して、最大限の協力をしていく考えであることを申し添えました。

### 取 組

**5月** 本会議場の議席の間隔を1席空け、市当局の本会議出席者を関係職員のみとしました。

▶ 傍聴については、ホームページ上で自粛の呼びかけを行うとともに、傍聴にお越しの方には感染予防対策をお願いしています。



## 財源確保のための議会の決定

沼津市議会は、市民生活の深刻な状況を重く受けとめ、低迷する市内経済の回復など、この苦境を乗り越えるための新型コロナウイルス感染症対策の推進に資するため、**第一弾として上期政務活動費の執行停止**を決定しました。

そして、次代を担う子供たちを育む教育現場の支援などのため、**第二弾として議員報酬を減額**することとしました。

**政務活動費（上期）の執行停止**  
24万円×28人分【672万円】



**発議第3号 沼津市議会議員の報酬の特例に関する条例の制定**  
～新型コロナウイルス対策の推進や児童生徒の学習支援のために議員報酬を減額～  
議員の報酬月額3%減額【293万円】  
令和2年7月1日～令和3年1月31日

今後も、新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、市議会として必要な対応を検討していきます

常任委員会は、その部門に属する事務に関して調査を行う権限を持っています。  
 所管事務調査は、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは違い、常任委員会  
 が自主的にテーマを設定し、調査を行うものです。  
 今回、この調査報告がまとまりましたのでお知らせします。

## 総務委員会

## 市職員の業務におけるICTの活用について

認  
識

これまで、沼津市役所では、庁内用メールシステムの導入や職員用端末機の増設などにより業務の効率化が図られてきた。今後の検討事項としては、ペーパーレス会議及びWeb会議の環境整備、AIやRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などの活用が挙げられる。



▲姫路市ではチャットボットのデモンストレーション画面などを見学

調  
査

兵庫県姫路市ではAIの活用について、市民が日時を問わず問い合わせができるチャットボット（対話型問合せ機能）の導入事例などからその有効性を学んだ。奈良市ではRPAの活用について、業務の自動化により作業時間を大幅に削減できる可能性を学んだ。

ま  
と  
め

人口減少、少子高齢化が進展する中、安定的な行政運営を確保するためにはICTの活用が必要不可欠である。また、昨今、新型コロナウイルス感染症対策として多くの企業等がテレワークの取組を始めたほか、感染者との接触履歴を通知するスマートフォンアプリの導入が検討されるなど、ICTは生産性の向上や労働環境の改善のみならず感染症対策においても有効性が注目されていることから、さらに深い政策提言を検討するため継続調査とし、引き続き研究を行う。

## 文教産業委員会

## 海を活用した交流人口の拡大について



▲知多市では新舞子マリナーパークを活用した様々なイベントの事例を視察

認  
識

人口減少社会の現在、本市の発展のために交流人口の拡大が重要である。観光交流客数は増加傾向にあり、沼津港には年間150万人以上が訪れる。本市は、駿河湾・富士山・愛鷹山・リアス式海岸等の自然資源のほか、湾・沖合・棧橋といった地域資源も多く有している。

調  
査

勉強会と管内視察により、観光交流客数の現状と課題のほか、交流人口拡大に向けた取組、沼津港の浮棧橋の整備計画や活用方法、大瀬・戸田の浮棧橋の利用状況と課題等を調査した。また、愛知県知多市の「新舞子マリナーパーク」や愛媛県今治市の「みなと再生事業」を視察調査し、現状の把握並びにさらなる推進の可能性を検証した。

提  
言

- ・ 景観、周遊、祭り、学び、体験、スポーツといった様々な利用方法を組み合わせたイベント等の開催に取り組むこと。
- ・ 海水浴場や沼津港をストレスなく利用できる駐車対策を検討すること。
- ・ 沼津港の浮棧橋の積極的な活用と整備を促進し、大瀬・戸田の浮棧橋の新たな利用・管理方法の検討と必要な法整備や情報発信を行うこと。
- ・ Sea級グルメ全国大会の開催誘致に向けた機運を醸成すること。



▲今治市ではみなと再生事業や海の駅の管理運営方法などを視察

# 常任委員会（総務、文教産業、民生病院、建設水道） 所管事務調査について報告します

## 民生病院委員会

## 介護予防を中心とした健康寿命延伸について

認識

平成31年4月の本市の高齢化率は、31.0%であり、今後、団塊の世代が加わることで、更に上昇すると予想される。また、要介護認定者数は、高齢化に伴い急増している状況にあるため、今後は介護を必要としない高齢者を増やす施策の充実が望まれる。

調査

千葉県柏市は、日本で初めてフレイル予防に取り組んだ市であり、東京大学の研究会の協力を得た先進的な取組を視察した。東京都西東京市は、健康応援都市を目指し、介護保険事業計画において、医療・介護の専門職の力と市民の力を生かした地域包括ケアシステムを構築している市であり、独自の取組を調査した。

提言

- ・フレイルチェックの普及・啓発を行うフレイルサポーターの養成及び増員に努めること。
- ・介護予防に関する出前講座の実施やモデル地区の選定等、対象地区の拡大や回数増加など事業の拡充に努めること。
- ・事業の実施には地域との連携を図り、市民が楽しんで活動できるように工夫を積極的に取り入れること。



▲西東京市の介護保険事業計画を研究



▲やってみよう！フレイルチェック

## 建設水道委員会

## 都市のスポンジ化への対応 ～車中心から人と公共交通中心のまちづくり～



▲JR沼津駅北口周辺で実施された道路空間の歩行空間化社会実験を視察



▲福井市では平面駐車場を屋外広場として有効活用した事例を視察

認識

本市の中心市街地では、平面駐車場や空き地等の低未利用地が散在する都市のスポンジ化が進行し、これによる生活利便性の低下や景観の悪化等が課題となっている。このことから、中心市街地の特性を踏まえた上で、低未利用地を活用した施策展開が求められる。

調査

勉強会により本市の中心市街地の現状を把握するとともに、JR沼津駅北口周辺で行われた道路空間の歩行空間化社会実験を視察した。福井市では、新米テラスの取組を視察し、中心市街地の平面駐車場を屋外広場として有効活用（使用権交換）することでにぎわいを生み、市街地環境の向上や空き店舗の減少に寄与している点を確認した。

提言

- ・中心市街地に散在している低未利用地を転用し、活用することでにぎわいや回遊を生む拠点の創出が期待できることから、医療施設や子育て施設等の都市機能を導入するために低未利用地の用途転換や集約化による柔軟な土地の活用を求める。
- ・公共交通中心のまちづくりに向けて、居住地と中心市街地を結び利用しやすい交通体系が重要となるため、今まで以上に市と交通事業者の連携を求める。



## 前副議長に感謝状を贈呈

6月5日に副議長を辞職した梶泰久議員に対し、感謝状を贈呈することが6月26日の本会議において全員一致で可決され、議会から感謝状が贈られました。



## 新しい副議長決まる

副議長の辞職に伴い、6月5日に選挙を行った結果、新たに加藤明子議員が、第100代副議長に当選しました。



▲選挙に先立ち開催した  
所信表明会



副議長  
加藤明子 議員

## 新型コロナ対策の御尽力に感謝し エールを送りました

5月臨時会の閉会后に、医療関係者の皆様方をはじめ、御尽力いただいている全ての方々に感謝とエールの気持ちを込めて、議員及び市当局出席者全員で拍手を送りました。



## 沼津市民憲章を 唱和しました



6月定例会の開会前に、沼津市民のまちづくりの規範として制定された沼津市民憲章を、本会議場で唱和しました。



## 開かれた議会へ 政務活動費の領収書等をホームページで公開しています

### 政務活動費とは

議員の調査研究その他の活動の経費の一部として、議員または会派に対し交付されるものです。

沼津市議会では、条例により、会派に対し交付され、会派所属議員一人当たり年額48万円(※)です。

※令和2年度は、P.9の決定により、上期分(24万円)を執行停止しました。

### ホームページ公開資料

- 収支報告書 ○支出明細書 ○支出伝票 ○領収書 ○行政視察・研修参加等申請書
- 行政視察・研修参加等報告書



次回  
予定

第6回(9月)定例会開会:令和2年9月16日

市議会だより発行:令和2年12月1日



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。

◆今号の「ぼくとわたしのゆめだから」(小学生の作文)は、掲載をお休みします。

### 議会だより編集委員会

委員長 加藤 明子  
副委員長 浅田美重子

委員 平野 謙  
委員 小泉 宣子

委員 深田 昇  
委員 市川 道隆

委員 岡田 進一  
委員 山下富美子